

H31竜王南小学校便り No. 2 2019.4.26 発行 甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標

「楽しい学校(楽校)の創造」 - やる気 こん気 げん気 -

さわやかなあいさつで心を伝えよう!

校舎前の花壇やプランターには、パンジーやビオラ、デイジー、なでしこなど、色とりどりの花が今を盛りに咲いています。チューリップは花びらを落としてしまいましたが、4月上旬の寒さのせいで、例年に比べ花もちがよかったように思います。園芸委員会の児童が毎日花壇に水をやり、花がらや雑草を取ってくれています。各委員会活動もそれぞれ軌道に乗り始め、竜王南小学校の平成31年度は、順調にスタートを切ることができました。

さて、始業式の日に子供たちとも確認したことですが、今年度重点的に取り組みたい具体目標の一つに、「げん気にあいさつする子ども」があります。簡単なことのようですが、子供たちにとっては意外に経験も乏しく、元気にあいさつができる学校となるまでには、努力と家庭や地域の協力が不可欠です。昨年度

も、児童会が企画して学級ごとに行った「あいさつトンネル」や竜王中学校生徒会と合同で行った「あいさつ運動」 が、子供たちの意識を少しずつ変えていきました。

甲斐市では、子供たちが自分の生活に自信や誇りをもつようになることを願って、全ての小中学校において、「甲斐っ子の宝」プロジェクトに取り組んでいます。「整理整頓、清掃活動、あいさつ」という基本的な生活習慣に重点を置いて、小中学校が同じ歩調で行っています。

あいさつは、コミュニケーションの扉を開きます。学校 や家庭、地域で取り組んで、成果を出したいことの一つで す。



竜王南小学校 当たり前十か楽の確認

6年前に、当たり前のことが当たり前にできる、きれいな日本一の学校をめざして「南小当たり前十か 条」が制定されました。今年度も全校でしっかり取り組んでいきます。

第六条 第 十条 七条 九条 八条 五条 当たり 桑 桑 竜は 南省 平成二十四年十二月十八日策定 無む **駄**だ 言わない、 自じ 前き ろうかは 人ひ は 人 $^{\mathcal{U}}_{\mathcal{V}}$ 時じ **整** 使か 迷Ű 忘 きれいな日本 一の学 校をめざして ありがとう」 分点 が 間が 理 n つきり言う。 <u>ත</u> 惑 の ったものは 元 にもどし 小走 物_c 傷つくことはしな 話なし ことが、 を からあいさつをする なことはしない をしないで、そうじをする 寸^ま はしない 静ず を聴く。 Ŋ いじめない だり かに歩る 当たり前 けじめをつける。 前^ま こめんなさい」 制

明日から10連休 ~楽レく安全に過ごすために~

すでに御承知のとおり、今年度は5月1日が新天皇即位に伴う祝日となるため、明日から5月6日まで、学校は10連休となります。いつもより長いゴールデンウイーク、過ごし方は家庭によって様々だと思いますが、子供たちが楽しく安全に、そして有意義な時間を過ごせるよう、家庭でも御指導をお願いします。《学校で指導していること》

= 交通安全 =

- ◎ 自転車の乗車範囲の目安について
 - 1 2年生:支部内 3 4年生:学区内 5 6年生:旧竜王町内
- ◎ 自転車の乗り方について
 - ・急な飛び出しをしない。・二人乗りをしない。・なるべくヘルメットをかぶる。

= 命を守るために =

- ◎ 不審な人に出会ったときは、『イカのおすし』…「行かない」「乗らない」「大声でさけぶ」 「児童110番の家」に限らず、近くの家に助けを求める。
- ◎ 出かけるときには、家の人に「誰と」「どこへ」「何をしに行く」「何時に帰る」のかを必ず知らせる。

ー やる気 こん気 げん気 ー

仲間入り 【1年生を迎える会】

4月22日(月)の中休みから3校時にかけて、本校体育館にて、1年生を迎える会を実施しました。1年生は、入場の際一人ずつ自己紹介をしました。自分の名前と好きなものや将来の夢など、それぞれが立派に話すことができました。児童会役員は、〇×クイズを取り入れたユーモアのある寸劇で、学校生活を紹介してくれました。その後、「猛獣狩りに行こうよ」のゲームを全校で楽しみました。また、1年生一人一人に、手作りのメダルがプレゼントされました。1年生は、大勢の上級生とふれあい、会を楽しむとともに、児童会の仲間入りをすることができました。





八幡芋の植え付け【3年生】

4月23日(火)に「胞子の会」の方々の御指導を受けながら、3年生が「八幡芋」の植え付けを行いました。はじめに、作業の手順について説明をしていただいた後、「どっちが上かな」「同じ間隔で」など考えながら、ひもの目印に沿って種芋を植え付けることができました。その後、肥料をまき、マルチをかけるところまで、大人の手を借りながらこん気強く作業しました。「胞子の会」の方からは、「立派な芋を収穫するまでには観察や草取りなどいろいろありますが、頑張ってください。」という励まし

の言葉をいただ。またの葉にだり、またでではないできますのないできますのを書いるを書いるを書いてきまからは、いたができないできないできないできないがいた。」からは、いいのではないのでは、いいので



